

質問および答弁(要旨)

新年度予算編成について (水曜日)

**問** 市長は、就任以来4年間、教育、環境、協働、行革、活力、福祉、安心・安全の7つのキーワードに基づき重点政策枠を設け市政運営を進めてこられたが、この間の成果と課題は。また、新年度予算編成では、どこに重点を置き進めるのか。

**答** 国は、歳出・歳入一体改革を推進し、国、地方を通じ、引き続き歳出全般の徹底した見直しを行うとしている。本市の財政環境も引き続き厳しい状況と受け止めており、限られた財源で、より一層の事業の選択と重点化に取り組み必要があると考えている。このため、重点課題である福山駅前広場整備や東桜町地区市街地再開発事業などの都市基盤整備を着実に実施するとともに、小中学校屋内運動場の耐震補強整備などの安心・安全の取り組みや環境施策の推進など、引き続き、市政運営の7つのキーワードに基づく重点政策事

業に、より財源の重点化を図る中で、健全で持続的な財政運営の視点を踏まえ予算編成に取り組む。

◇関連質問

- ・ 予算編成の基本について (市民連合)
- ・ 20年度予算編成方針について (公明党)
- ・ 予算編成における雑収入について (明政会)
- ・ 新年度予算編成について (日本共産党)

第四次総合計画の児童・生徒への周知 (新政クラブ)

**問** 向こう10年間の本市全体のまちづくりの方向性やビジョンを示した第四次総合計画は、すべての年齢層に関係するまちづくり計画であり、児童や生徒へのまちづくりプランの提供が重要である。10年が経過すると、その児童や生徒は本市のまちづくりを担う人材へと成長する。教育の場を通じて、計画を学び理解する機会が必要ではないか。

**答** 本市の目指すべき将来都市像やまちづくりの施策について、

未来を支える小中学生に理解してもらうことは重要と考えており、教材として、子どもの一日の生活と総合計画の関係を説明したり、施策の取り組みを紹介する、映像やイラストを数多く取り入れたDVDを作成した。今後、市内の小中学校へ配布し、まちづくりへの参画などに興味を持てるよう、総合学習などの機会を活用する。



総合学習の授業

国保の資格証明書の取扱い (市民連合)

**問** 2000年度から国において資格証明書の発行が義務化されて以降、発行数が年々増加する傾向にあり、中核市の中でも6番目の高さで、その大半は生活保護基準に近い階層である。

**可決した意見書**  
 議員提案による次の意見書を可決して、福山市議会として、国会および関係省庁に送付しました。  
 詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。  
 ◆原爆症認定制度にかかわる問題の早期解決を求める意見書

る。この階層への発行は命にかながるものだけに、極力発行しないですむ制度を展望し、基準を見直すべきだが。

**答** 高齢社会の進展や格差社会の拡大などの状況の中で、被保険者の医療の確保の観点から、生活保護基準なども参考にし一定の所得要件を視野に検討する。併せて滞納者個々の実態をより詳細に把握し、負担能力を見極め、保険料収納に努めるとともに、被保険者はもとより、市民に理解と協力が得られる方向性を求めていく。実施時期は、2008年10月の被保険者証一斉更新時に向け検討する。

◇関連質問  
 ・ 国保行政について (水曜日)